

令和3年度港湾関係研究奨励助成の決定について

令和3年1月吉日
公益社団法人 日本港湾協会
研究奨励助成事業 事務局

公益社団法人 日本港湾協会では、港湾の利用振興や発展等に役立つ経済、経営、計画、法律、文化などの研究を行う研究者や研究グループ等に対する研究奨励助成制度（選定者には1件100万円以内の助成）を平成16年度より設置しております。

本年度は日本港湾協会の情報誌「港湾」やホームページなどを通じ、令和2年9月1日から9月30日まで募集を行い、港湾防災や港湾経営、国際物流、港湾整備などの分野で7件の応募がありました。

研究奨励助成審査委員会（委員長 石原伸志 東海大学海洋学部 客員教授）で審査の結果、下記の2件の研究について助成を行うことと致しました。

なお、本研究助成は、来年度も継続して実施を予定しております。

1. 「パンデミック及びポスト・パンデミックにおける海上資源輸送路の複線化と港湾機能強化が我が国のエネルギー安定供給にもたらす相乗効果—ロシア北極圏及び中央アジアからの資源輸送と受入れ港湾の整備にむけて—」
中田 達也（東京海洋大学 先端科学技術センター 特任准教授）
2. 「近世港町の成立経緯と都市形態に関する研究」
岡崎 篤行（新潟大学工学部建築学プログラム 教授）